

令和5年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 中原 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

教科に関する調査（国語、算数）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

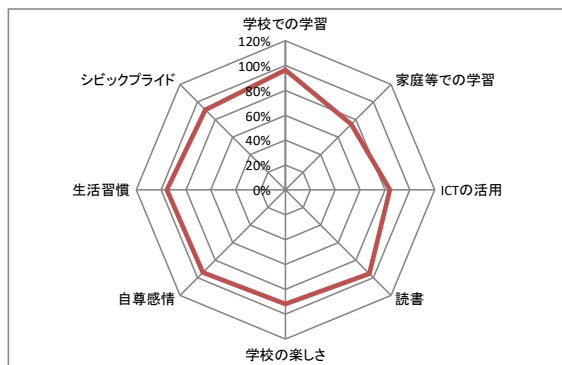
本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.4	59
全国	9.4	67	10.0	63

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	「話すこと、聞くこと」についての正答率が高く、目的や意図に応じて話の内容や中心をとらえることができている。一方で、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したり、与えられた条件にそって文章を書いたりすることに課題がある。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	インタビューの内容について、質問の意図を考えたり、分かったことをまとめたりする問題	
	努力が必要な問題	文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめて書く問題	

算数	全体的な傾向や特徴など	「数と計算」についての正答率が高い。基本的な数の処理の仕方が身についている。また、数量の変化や関係について読み取ったことを説明することができるようになっている。一方で、図形の意味や性質についての理解に課題がある。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	小数の加法や乗法を用いて求め方を式や言葉を用いて記述する問題	
	努力が必要な問題	台形や正三角形の意味や性質を問う問題、三角形の底辺と面積の関係から面積の大小を問う問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<p>○学校生活の項目では、友達関係が良好であると感じている児童が多く、友達と協力して活動したり、話し合ったりすることができていると考えている児童も多かった。このことは、普段の児童の姿からもうかがわれる。</p> <p>○学習面では自分の考えをまとめたり学習した内容について分かった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると答えた児童が多い。</p> <p>○家庭学習への計画的な取組や取り組む時間、また、学習でのICTの活用についての数値が低くなっていて、それぞれの課題について取り組んでいく必要がある。</p>

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

<p>○各教科で「書くこと」「話し合い活動」を授業の中に位置づけ、自分の考えを的確に表現したり、友達との交流の中で自分の考えを深めたり広げたりすることで、児童の思考力や判断力・表現力を高める。</p> <p>○算数科では図形の領域について、図形の構成要素を把握しやすい学習活動を取り入れるなど、各学年の指導を充実し、学習内容の定着を図る。</p> <p>○ICTについては、各教科において積極的、効果的な活用に取り組む。また、そのための職員研修を行う。</p>
--

② 家庭生活習慣等に関する取組

<p>○家庭学習・自主学習の取組については、学年に応じた取組を紹介するなどして児童の意欲を継続させるとともに、家庭への啓発を図っていくようにする。</p> <p>○挨拶・早寝早起朝ごはん・規範意識の育成など、学校での取組を継続していくとともに、学校だよりなどを通じて家庭や地域に啓発していく。</p>
--